

## 日独シンポジウム「Society 5.0を実現するデジタル化とは」を開催

開催日：2018年4月24日(火)

場所：経団連会館

プログラム：基調講演「Industry 4.0：ドイツのデジタル化最新事情」

ステファン・ホイマン SNV理事

パネルディスカッション(1) 産業界の課題：イノベーション・R&D

江村 克己 経団連未来産業・技術委員会 Society5.0 実現部会長

日本電気取締役執行役員常務兼CTO

トマス・コーネン ドイツ産業連盟BDIデジタルイノベーション本部長

森川 博之 東京大学先端科学技術研究センター教授

日下 一正 元経済産業審議官、国際経済交流財団会長(チェア)

パネルディスカッション(2) 政府の課題：規制・標準化・教育

ジェネット・ホフマン ベルリン社会科学大学院教授

進藤 秀夫 内閣府大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)

マルティン・ポール 駐日ドイツ連邦共和国大使館参事官

ステファン・ホイマン SNV理事(チェア)

経済広報センターは4月24日、経団連会館でベルリン日独センター(JDZB)との共催で、シンポジウム「Society 5.0を実現するデジタル化とは」を開催した。日独両国の企業、政府、研究機関、メディア関係者ら約160名が参加した。



基調講演するホイマンSNV理事

シンポジウムではまず、ドイツのICT専門シンクタンクであるSNVのステファン・ホイマン理事が基調講演を行った。ホイマン氏は、生産性向上や競争力向上に向けて、製造業のデジタル化を推進するドイツの戦略的国家プロジェクト「Industry 4.0」の概要を紹介したうえで、超スマート社会「Society 5.0」の実現に取り組む日本とのさまざまな連携・協力の可能性、重要性を強調した。

その後、Society 5.0実現に向けた産業界と政府の課題それぞれについて、パネルディスカッションが行われた。産業界の課題に関するパネルでは、日下一正 国際経済交流財団理事長(元経済産業審議官)をチェアマンに、江村克己 日本電気取締役

執行役員常務兼C  
TO、森川博之 東京大学先端科学技術研究センター教授、トマス・コーネン ドイツ産業連盟（BDI）本部長が参加。デジタル化は社会全体を大きく変える可能性



パネルディスカッションの様子（左から江村氏、コーネン氏、森川氏、日下氏）

を秘めていることから、「既成概念にとらわれない柔軟な思考でビジネスを展開していくことが必要」（森川教授）などの議論があった。

政府の課題についてのパネルでは、SNVのホイマン氏がチェアマンを務め、進藤秀夫 内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）、ジェネット・ホフマン ベルリン社会科学大学院教授、マルティン・ポール 駐日ドイツ大使館参事官が参加。人材育成や規制改革の重要性などについて意見交換が行われた。

以上



パネルディスカッションの様子（左からホフマン氏、進藤氏、ポール氏、ホイマン氏）

一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。